

**第6次高浜市総合計画推進会議（第4回） 会議録**

<b>日時</b>	平成28年8月23日（火）午後6時55分～7時45分		
<b>場所</b>	高浜市役所 第2会議室（4階）	<b>傍聴人数</b>	4名
<b>出席者</b>	<b>委員</b>	中川幾郎、酒井康満、岩月義成、菅野洋一、清水恵子、高桑雄司、竹内一仁、田代峯子、内藤靖子、古橋知美、宮田克弥、神谷坂敏 (12名出席)	
	<b>行政</b>	市長 吉岡初浩 教育長 都築公人 総務部長 内田徹 市民総合窓口センター長 大岡英城 福祉部長 加藤一志 こども未来部長 中村孝徳 都市政策部長 深谷直弘 議会事務局長 加藤元久 財務グループ リーダー 岡島正明 文化スポーツグループ リーダー 鈴木明美 学校経営グループ リーダー 内藤克己 学校経営グループ 主幹 岡本竜生 こども育成グループ リーダー 都築真哉 地域産業グループ リーダー 板倉宏幸 市民生活グループ リーダー 芝田啓二 都市防災グループ リーダー 神谷義直 地域福祉グループ リーダー 木村忠好 保健福祉兼生涯現役まちづくりグループ リーダー 磯村和志 人事グループ リーダー 杉浦崇臣 税務グループ リーダー 山下浩二 行政グループ リーダー 山本時雄 企業支援グループ リーダー 島口靖 上下水道グループ リーダー 杉浦睦彦 介護保険・障がいグループ リーダー 竹内正夫 福祉まるごと相談グループ リーダー 野口真樹 (25名出席)	
	<b>事務局</b>	企画部長 神谷美百合 総合政策グループ リーダー 野口恒夫 同 主幹 榊原雅彦 同 主査 山本久美 同 主事 稲垣翔太 同 主事 岡田真吾	

		同 同	主 事 主 事	加古博紀 川合晃三	(8名出席)
次 第	1	あいさつ			
	2	議題			
		1) 「施策評価シート」について			
		2) 施策評価シートの提出文（案）について			
		3) 今後の推進会議スケジュールについて			
		4) 「推進会議による点検・確認結果」反映状況の報告について			
	3	その他			
資 料		資料1：第6次高浜市総合計画推進会議（第2回） 会議録			
		資料2：施策評価シート〔平成27年度の取組みに対する評価〕【案】			
		資料3：第6次高浜市総合計画の推進に向けて【案】			
		資料4：第6次高浜市総合計画推進会議 今後のスケジュール【イメージ】			
		資料5：推進会議からのコメントに対する行政の考え方・対応 フォーマット【案】			

## 1. あいさつ

会 長： ・本日は、これまで実施してきた平成27年度施策評価の締めくくりということで、施策評価シートの「推進会議による点検・確認結果」欄の内容について協議・承認をいただき、推進会議からの提言という形で、会議の最後には、施策評価シートの冊子を市長へ提出する。

## 2. 議題

### 1)「施策評価シート」について

会 長： ・第2回・第3回での委員からのコメントを踏まえてシートを修正した箇所について、行政からご報告いただく。修正箇所は、網掛けを施している。  
・修正があった目標は、目標（1）・（4）・（5）となっており、修正のなかったそれ以外の目標については、報告を省略させていただく。  
・では、目標（1）について、説明をお願いしたい。

行 政： <資料2 24ページを基に報告>

・委員のご意見を踏まえ、まち協や町内会等が行う活動について、行政からの発信だけではなく、自ら積極的に情報発信するよう働きかけを行う旨を追加した。

行 政： <資料2 24ページを基に報告>

・職員の成長支援に関するご意見を踏まえ、若手だけでなくおおよそ35歳ぐらいまでの中堅職員の成長支援も行っていく旨を追加した。

会 長： ・続いて、目標（4）をお願いしたい。

行 政： <資料2 36ページを基に報告>

・高浜カリキュラム推進における人材の発掘に対するご意見を踏まえ、発掘に際しては他部局で把握している人材情報を各校に伝え、活用を図っていく旨を追加した。

会 長： ・続いて、目標（5）をお願いしたい。

行 政： <資料2 40ページを基に報告>

・事業のPRについてのご意見を踏まえ、直接PRできる機会を活用する旨、行政から発信が必要な情報を提供する旨について追加した。

会 長： ・次に、「推進会議の点検・確認結果」欄の確認に入る。  
・まず、25ページの目標（1）である。他に付け加えることはないか。  
（意見・質問等なし）

・では、目標（1）の点検・確認結果については、原案のとおりでよろしいか。  
（異議なし・承認）

<目標（2）・（3）意見・質問等なし、原案のとおり承認>

・次に、37ページ、目標（4）で他に付け加えることはないか。

委 員： ・高校でのカリキュラムの中に「コミュニケーション能力の育成」を加えるのではなく、高校生で不登校になる子が多いため、高校→小・中学校へと修正をお願いしたい。

会 長： ・修正することに支障はあるか。

行政： ・ない。

会長： ・それでは、ご意見のとおり修正をお願いしたい。

<以下、目標（５）～目標全般まで意見・質問等なし、原案のとおり承認>

会長： ・では、事務局は、ただいまご意見いただいた部分を修正して、冊子を完成させていただくようお願いしたい。

## 2) 施策評価シートの提出文（案）について

会長： ・ただいまご意見をいただいた施策評価シートの冊子を、この後市長へ提出するが、提出の際につける鑑の文章の案を事務局が作成したので、事務局から読み上げていただく。

行政： ・資料３をお願いしたい。

### 第6次高浜市総合計画の推進に向けて

「第6次高浜市総合計画推進会議」においては、総合計画 中期基本計画に掲げる11目標の達成に向け、平成27年度に行政が実施した取組みが有効な手段であったか、また、取組みから見えてきた課題を的確に捉え、課題解決に向けた今後の取組みに反映されているかなどについて「点検・確認」を行い、別添のとおり「第6次高浜市総合計画基本計画【中期】施策評価シート〔平成27年度の取組みに対する評価〕」をとりまとめました。

つきましては、将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」の実現に向けて、本評価シートをアクションプランの見直し、及び、来年度予算検討にあたっての参考資料として活用され、目標達成に向けてその歩みを着実に進められることを切に願います。

会長： ・ただいま、読み上げていただいたが、言い回し等、直した方がいいといったご意見があればお願いしたい。（意見等なし）

・では、原案どおりということではよろしいか。（異議なし・承認）

## 3) 今後の推進会議スケジュールについて

会長： ・それでは、議題3「今後の推進会議スケジュールについて」事務局より説明をお願いしたい。

行政： ・資料4をご覧ください。

・今年3月に開催した推進会議において、年間のスケジュールについてお示しした。27年度の施策評価については一段落したが、改めて今後の進め方について再確認したい。

・まず、本日第4回推進会議において、この後市長へ「点検・確認結果」を提出する。その後、行政においては、次年度のアクションプラン案や当初予算案の作成作業に入っていくが、これらと並行し、推進会議で委員の皆さまからいただいたご提案やご意見を、今後の施策や、次年度の当初予算案にどう反映させていくか、といった返しのシートを作成し、次回第5回推進会議において発表をさせていただく予定をしている。行政がどういった観点で報

告・発表をしていくのかについては、資料に記載のとおりだが、詳細については次の議題4の中で説明する。

- ・今年度最後の推進会議として予定している第6回推進会議では、今年度の推進会議の振り返りとして、点検・確認作業、施策評価の方法や進め方についての課題・成果などを振り返り、ご意見をいただき、次年度の推進会議運営に活かしていきたいと考えている。
- ・なお、本日の会議の最後には、次回第5回推進会議の日程を確定させる。

会 長： ・ただいま事務局から説明のあった内容について、ご質問などがあればお願いしたい。

(質問等なし)

会 長： ・では、事務局におかれましては、このスケジュールに沿って事務を進めていただくようお願いしたい。

#### 4)「推進会議による点検・確認結果」反映状況の報告について

会 長： ・それでは、議題4について事務局より説明をお願いしたい。

行 政： ・資料5をご覧ください。

- ・ただ今の議題3でも説明したとおり、推進会議で委員の皆さまからいただいたご提案やご意見を、今後どう反映させていくかといった返しの発表を、次回第5回推進会議で行う予定をしている。
- ・発表の際の参考資料となるシートのフォーマット(案)が資料5であり、サンプルとして、ご意見を多くいただいた目標(2)を資料としている。委員の皆さまからいただいたコメントを、「提案」と「感想・意見」の大きく2つに分け、それぞれに対する行政の考え方と対応(案)についてまとめている。
- ・行政の考え方と対応(案)の発表に際しての観点として、まず「提案」のコメントに対しては、取組状況としてA. 既に完了 B. 着手済 C. 次年度に実施予定 D. 実施しない の4つに分け、その下の「具体的な取組内容」欄に、今後いつ、どんなことに、どのように取り組んでいくのか、また、実施しない場合はその理由・考え方、代替案などについて記載をする。また、その下の欄には、コメントに関連するアクションプランを記載し、発表は担当グループのリーダーから行う予定をしている。
- ・また、感想・意見のコメントに対しては、感想・意見をどう受け止め、今後どんなことにどういったふうに取り組んでいくのかについて、発表を行う。
- ・本日は、委員の皆さまから、お示ししたシートのフォーマット(案)について「もっとこうの方が良いのではないか」といったご意見をいただき、フォーマットを確定させるとともに、「こういった観点での発表が聞きたい」といったご意見も伺えればと考えている。

会 長： ・ただいま事務局から説明のあった内容について、ご意見などがあればお願いしたい。

(意見・質問等なし)

会 長： ・では、フォーマットについては原案どおりとし、また、各担当グループにおかれましては、シートの作成作業を進めていただくようお願いしたい。

### 3. その他

会 長： ・以上で、全ての議事は終了した。

・その他に入るが、まずは次回第5回推進会議の日程を確定させたい。

行 政： ・次回第5回推進会議の日程について、11月15日(火)午後7時からはいかがか。ご都合の合わない委員は挙手をお願いしたい。

(挙手なし)

行 政： ・それでは、次回第5回推進会議は11月15日(火)午後7時から開催する。日程が近付いたら案内文書を送付する。

会 長： ・それでは、いよいよこれから施策評価シートの提出となるが、最後に、委員の皆さんの想いを受けて取組みを進めていく行政へのエールなどを、皆さんから一言ずつ述べていただきたい。

委 員： ・市民意識調査の結果に差が出た。結果の良くなかったところは気落ちせず頑張ってもらいたい。

委 員： ・施策を進めるにあたりどうしても障害は出てくるが、時間も人数も限られているため臨機応変に対応していただきたい。

・市民感情を汲み取りながら、頑張ってもらいたい。

委 員： ・私が市の施策に関わり始めた当初は、紙面の内容だけで伝わるものは少なかったが、顔が見え、各部署の働きかけがよく伝わってくるようになってきている。

委 員： ・今までやってきたことのPDCAを回し、現状分析や背景を追加することで市民により内容が伝わりやすくなると思う。

委 員： ・施策に取り組むにあたり、「どのように」の部分掘り下げて考えながら進めてほしい。

委 員： ・市のPRが全般的に弱く、市民に伝わっていないと感じる。市が行う施策について市職員全体が理解することで、市民にも浸透していくと思う。

委 員： ・地域活動に参加する人も徐々に増え、地域活動に参加する職員もグンと増えている。焦らずゆっくりやっていけば、良い結果が見えてくると思う。

委 員： ・市の熱意が市民になかなか伝わりにくく、壁があると実感している。一旦入ってもらえばわかってもらえると思うため、最初の一步をいかに踏み出させるかを考えてほしい。

委 員： ・住民投票の活動が活発化している今、市民が行政の動きに目を向け始めている。市が進める施策をPRする絶好のチャンスである。

委 員： ・これで終わりではなく始まるということを認識してほしい。やり方についても、部だけでなく、部を越えた横の連携も取りながら考えてほしい。我々市民も協力をさせていただく。

委 員： ・貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。

・効率的な財政運営を行うための公共施設の統廃合、そのスタートで中央公民

館の廃止を行っているが、住民の反対運動が起こっている。

- ・仮に中央公民館を残すという選択をした場合、10億円程度の大規模改修を行い、毎年3,000万円の管理コストをかければ20・25年使えることになる。このことは、統廃合という課題を20・25年先送りすることになると考えている。

- ・20・25年後になると、納税者が減少する時と重なる。その時に、今の行財政運営がやっつけられるのかどうか。賭けみたいな行財政運営でいいのかどうか。そういったところを市民に訴えていきたい。

会 長：

- ・2つの観点から分析方法の仕分けをする必要がある。
- ・1つ目は、内部要因と外部要因という分け方。外部要因だからある程度仕方がないという部分と、内部要因で努力すれば何とかできるという部分を混線しないようにする必要がある。

- ・2つ目は、住民側の責任と、行政の団体自治の責任という分け方。住民自治の力が落ちてきており、住民自身の意識の変化やアクティビティが増えてきたことにより、指標結果が落ちているという要素もあるし、行政の団体自治の取組みが不足しているから指標結果が落ちているということもある。この2つを混線しないように評価しなくてはならない。

- ・住民側の責任として、行政もっと頑張れよと尻をたたくだけでは無責任であり、パワーが落ちてきているのは何が原因なのかについても洞察を深め、助言・提案をするという責任がある。

- ・こういった多角的な分析を加えて評価をしていくべきだと感じた。

行 政：

- ・それでは市長へシートの提出をお願いしたい。

(会長：提出文を読み上げて市長へ渡す)

(渡しているところの写真撮影)

- ・市長から、委員の皆様にお礼を申し上げる。

市 長：

- ・委員の皆さまにおかれましては、貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。委員の皆さまからいただいたご意見の中に、我々が進むべき大きなヒントがあると思う。

- ・これまでを振り返ると、本当にこの指標でいいのか、目標達成に向けて進んでいるのかどうか若干不安があったが、ここへきて相関が見えるような仕組みになってきた。ひとえに皆さま方から、目標達成に対してどういう行動を取るべきかといったたくさんのヒントをいただいているおかげである。我々はそれを計画に反映させることによって、将来こんなまちになったらいいなという最終的な目標に到達できるのではないかと思う。

- ・そして、的確なご指導をいただくことで、職員も自信をもって政策を進められる。

- ・皆さま方のご意見をいただきながら、総合計画に掲げる「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」の実現に向けて努力することを誓い、お礼の言葉とさせていただきます。

行 政：

- ・では最後に、今後もさらに市民・行政が一緒になって高浜をよりよいまちに

していくぞという想いを込め、記念撮影を行う。

- ・なお、各部長・GLにおかれましては、ここで解散とさせていただきます。

(委員、市長写真撮影)

(撮影後、解散)